

経営理念

株式会社 八千代ポーター

平成30年12月吉日 作成

<経営理念の制定について>

この「経営理念」は、「創業の精神」をベースにして、三代目社長である私、笠原政利の経営哲学・生き方・価値観を表現したものです。

「創業の精神」は、誕生時期に描いた会社への夢や、お客様や働いてくれる皆さんへの想いや願いを表したもので、当社の企業文化（社風）の根幹こんかんになっています。

「経営理念」は『社会的使命、会社の目標・方向性、職員の行動指針こうどうししん』を定めたもので、わが社の憲法とも言えます。

これからは、この理念を基本にして事業展開を図り、会社を運営して参ります。

世の中の変化はますますスピードを上げています。激しい変化の中で、時代に合わせて経営の舵取りかじをすることも重要でしょう。しかし変化を繰り返していく過程で経営の根幹こんかんが、その度たびにぶれてしまえば、あふれる情報の海の中で方向を見失い、漂流ひょうりゅう・沈没ちんぼつしてしまいます。

そうならないために、激しい変化の中でもぶれない機軸きじくや価値観として、この「経営理念」を制定しました。

ですから、皆さんはこの経営理念を常に意識し、毎日、自分の仕事・行動と照らし合わせて確認・修正をはかってください。

株式会社八千代ポトリーは、この「経営理念」を地で行く企業でありたいし、その方向で「中期ビジョン」の戦略・戦術りつあんも立案していきます。この「経営理念」に沿って、全員で努力して会社の目標を達成し、一人一人の夢を実現していきましょう。

経営理念

<私たちの使命>

私たちは、安全で新鮮な鶏卵の安定供給を通じて、健康で豊かな食文化に貢献します

<私たちの目標>

私たちは、お客様から「卵は八千代だ」と言っていただけ、信頼度 No.1 企業を目指します

<私たちの行動指針>

1. 私たちは、どこよりもきめ細かくお客様のご要望にお応えします
2. 私たちは、現状の品質やサービスに満足せず、積極的に改善改革に取り組みます
3. 私たちは、人間力に磨きをかけ、自分ならではの使命を果たします
4. 私たちは、お互いを尊重し、全社一丸となって、目標達成にチャレンジします
5. 私たちは、社会的常識・良識・倫理観を持って行動し、法令を遵守します
6. 会社は、一人ひとりの可能性を信じて、生き生きと輝ける場を提供し、職員の幸せを追求します

<私たちの使命>

- 私たちは、安全で新鮮な鶏卵の安定供給を通じて、健康で豊かな食文化に貢献します

(解説)

わが社は、日本の食生活に欠かせない卵を扱っています。

卵は戦後から、大きな価格変動もなく、物価の優等生とされています。1個20円前後で、動物性たんぱく質の中では、一番安価に手に入る、栄養豊富な食品で、ビタミンC以外の生命維持に必要な栄養素が含まれています。

生卵はもちろんのこと、たまご焼き、ゆで卵、マヨネーズ、ケーキなど、和洋中、お菓子に至るまで様々な料理に入っていて、子どもから大人まで好まれ、食生活を豊かにしています。

このように、ポピュラーな食材ですが、口に入れるものなので、安全でなければなりません。

卵にとって一番の危害要因は、サルモネラ菌です。お客様に安心していただける、安全で新鮮な卵の取り扱いを実現するためには、サルモネラフリーであることが絶対条件です。サルモネラ菌は親から子、子から孫へと垂直感染するので、ひよこの仕入れから、卵の流通に至る、全ての工程において、サルモネラ菌の監視をして安全を確保しています。

自分たちの仕事の重要性に気付き、使命感にかられる出来事がありました。

2011年の東日本大震災の時に、卵売り場から卵がなくなったのを初めて目の当たりにしました。

「いかなる場合でも、自分たちには卵を安定供給する責任があるんだ」と自覚しました。
あつて当たり前食材だからこそ、安定供給されなくなってしまうたら大変です。
日本の食生活の中から卵がなくなることを想像できるでしょうか。
もしも卵がなくなると、家庭で卵を使った料理が食べられなくなります。また、レストランなどの外食産業で提供する料理や、スーパーやコンビニなどの小売産業で扱う食品の大半が消えてしまいます。
このように、私たちの仕事は、社会的存在意義が大きいのです。
安全で新鮮な鶏卵の安定供給を通じて、健康で豊かな食文化に貢献することが、私たちの使命です。

<私たちの目標>

- 私たちは、お客様から「卵は八千代だ」と言っていただけ、信頼度 No.1 企業を目指します

(解説)

私たちが扱っている卵は、豊かな自然環境の中で、鶏という生き物から生産される食品です。見た目や形で違いが出にくく、差別化の難しい商品です。

わが社の『たまご』でなければいけない理由はありません。わが社の『たまご』が欲しい、買いたい、美味しい、『八千代さんがいてくれて助かった』と言われるように、日々、お客様のニーズに対応し続けなければいけません。

卵は食品です。どこまでいっても絶対に安全ということはありません。だから、日々当たり前のことを当たり前に行うことが大切です。卵や環境のサルモネラ検査など、定期的を実施することで、お客様に安心していただけるように努めてきました。それを積み重ねてきた結果、とあるお客様の鶏卵品質ガイドラインを作成するくらいの信頼関係を構築することができました。

また、同業他社さんが不良品を出した時に、お客様から「こういう不良品が出るのはどうしてですか？」と聞かれるようになりました。頼られて嬉しい反面、責任を感じます。

同じ工場、同じ商品でも、機械を扱う人や売り込む人が違うと、同じ結果にはなりません。全ては従事する人の人間力にかかってきます。

現状に満足せず、お客様のお困りごとには、「何とか力になりたい」という姿勢を大切にし、会社全体でより良いものを作ろうと、時代の変化を吸収して、日々努力してください。

その結果、お客様から「不良品をなくすにはどうしたらいいのか」「こんな商品ありませんか」と相談され、「八千代さんに言えば何とかしてくれるんじゃないか」と頼られるようになります。

信頼は品質、サービス、誠実さなどを継続することでしか得られません。

これからも、私たちは、お客様から「卵は八千代だ」と言っていただける、信頼度 No.1 企業を目指しましょう。

<私たちの行動指針>

1. 私たちは、どこよりもきめ細かくお客様のご要望にお応えします

(解説)

私たちは、お客様のご要望に応えるために、「何とか力になりたい」という姿勢を大切にしてきました。担当者が受注の有無を毎日確認し、オーダーが上がっていない店舗にはこちらから電話連絡をして、未然に商品の欠品を防いでいます。

気象状況によっては、予定を前倒しして、商品を製造し、臨時便で納品させていただくことで、欠品や当日の混乱を回避するように努めています。

「八千代さん、こんな商品ないの？」と言われると、すぐにはお断りせず、「わかりました、お時間ください」と答えて、お客様のご要望にできるだけ応えられるように努力してきました。

ちなみに、看板商品である食菜卵は、「卵アレルギーで卵が食べられない子どもたちのために、何とかならないか」という学校給食からのご要望で開発されたものです。

また、液卵を取り扱うお客様から、「計量のムダを省くために全卵1.1キロ1つで出荷はしてくれませんか」と相談を受けた時に「お客様のためになるなら」という思いから、求められた重量で製造・納品し、お客様から喜ばれました。このように、大手がやりたがらないような、細かいご要望にもお応えしています。

私たちはこれからも、どこよりもきめ細かくお客様のご要望にお応えし続けます。

2. 私たちは、現状の品質やサービスに満足せず、積極的に改善改革に取り組みます

(解説)

わが社は、鶏卵業界という枠にとらわれず、異業種の考え方や手法、情報を取り入れ、「良いものは良い」と積極的に改善改革に取り組んできました。

1995年に完成した、本社ビル及び立体GPセンターも、時代が進み、市場のニーズに応えた結果、製造するアイテムも増え、工場稼働率が下がり、労働環境も悪化の一途をたどっていました。このままではいけないと思い、2006年に自動倉庫型GPセンターを建設・稼働させた結果、飛躍的に労働環境が改善されると共に、生産性の向上、鮮度の高い卵の出荷を成し遂げました。しかし、改善した結果、今までにない、中身がない卵などの不良品が発生し始めました。「これでは改善した意味がない」という危機感から、異業種の機械メーカーと取り組み、中身なし検査装置を開発・設置し、未然に出荷を防ぎました。

今ではスタンダードになりましたが、ひび卵検査装置を業界に先駆けて導入したのもわが社でした。

当時は、「歩留まりを自分たちで悪くしてどうするんだ」と業界から批判されたこともありました。高まる安全性に対応するためには、導入は不可欠でした。

その後、血玉検査装置も導入するなど、品質の向上に積極的に取り組みました。

また、従来の10個、6個、4個入り以外に、他社に先駆けて2個入り、12個入りの商品の販売を始めた
たり、ハロウィンやイースターなどのイベント商品、お正月の紅白たまごなど、消費者に喜んでもらえる
商品作り、売り場づくりに取り組んでいます。

私たちは、現状の品質やサービスに満足せず、これからも積極的に改善改革に取り組んでいきたいと思います。

3. 私たちは、人間力に磨きをかけ、自分ならではの使命を果たします

(解説)

人間だれしも使命を持って生まれてきています。存在価値もある。仕事は、その使命を見つけ、自身の存在価値を自覚するための一つの手段です。

二代目節夫は、不本意ながら家業を継ぐことになりましたが、異業種の経営者の方々や、仲間との出会い、多くの方々の協力を得ながら農場の建設や、販売会社の設立など、事業を拡大してきました。その後、切磋琢磨しあいながら、人間力を磨き、チャレンジし続けることで、自分自身の存在価値を見出してきました。

僕自身は自動倉庫型 GP センターの立ち上げに際し、前例がなかったため、機械の操作方法もわからず、工場の運営に至るまで困難を極めました。職員や、機械メーカー、関係者の協力を得ながら、安定稼働にこぎつけました。どんな困難にも逃げずに立ち向かって乗り越えたことで、自分自身が磨かれたと実感しています。自分自身の可能性を信じて、とにかく今与えられたことを、熱意と誠実さと純朴さを持って、必死になってやりきる。成功しても、失敗しても、頑張った分、大きなものを得ることができます。手を抜いて得たものは、成功したとしても、得るものは小さいでしょう。

どんなに良い商品でも、販売する人次第では売れません。同じゲージシステムを使っても、扱う人によっては、生産される卵の品質は違います。その人の人間力を超える結果を得ることはできないのです。

自分自身の可能性を信じ、挑戦し続けることで、自らを成長させることができます。

人間力に磨きをかけることに終わりはありません。

私たちは、人間力に磨きをかけ続け、自分ならではの使命を見出し、その使命を果たしましょう。

4. 私たちは、お互いを尊重し、全社一丸となって、目標達成にチャレンジします

(解説)

人は一人では生きていけません。この世に生まれてから今日に至るまで、家族を始めとした様々な人の助けを借りながら、生活できています。

会社も同様で、一人だけでは商品やサービスを提供することはできません。自分一人では、できることに限りがあります。オールマイティーの人はいません。お互いの強みや弱みを認識しあい、強みを活かし、弱みはお互いにカバーしあうことで、一体感のある強い組織になることができます。

より良い商品やより良いサービスを提供するためには、自らの部門の役割と責任を果たすだけでなく、他部門の役割と責任を理解することが大切です。お互い、話さなければわからないこともあります。だから、言いたくないことも、腹を割ってしっかりと話していきましょう。時には自分と異なる意見を言われることもあるでしょう。その時には「あ、この人はそういう考えを持っているんだな」と受け止めることで、初めて相手のことを理解し、お互いを尊重しあえる、より良い関係になれます。僕は、部門間の垣根がなくなり一体となることで、大きなエネルギーが生まれ、より高い目標を達成できると信じています。

私たちは、お互いを尊重し、全社一丸となって、目標達成に向けて、チャレンジしていきましょう。

5. 私たちは、社会的常識・良識・倫理観を持って行動し、法令を遵守します

(解説)

私たちの会社は、日本人の食生活に欠かすことのできない、卵を扱っています。卵は栄養豊富で、様々な料理に使われ、便利な食材ですが、口に入れるものなので、安全でなければなりません。

皆さんが最終検品をした商品は、翌日には売り場に並びます。私たちにとっては1/15万パックかもしれないかもしれませんが、消費者にとっては、手に取った1パックが全てです。「絶対に安全はない」という意識を持ち、皆さん一人一人が消費者の代表として、毎日の業務に取り組んでください。

消費者や社会の監視の目は、年々厳しさを増しています。

産地偽装などの故意的なものは論外ですが、商品表示内容間違いなど、意図していないミスでも、厳しく批判され、社会的信用は失墜してしまいます。最悪の場合、会社が存続できず、職員全員が路頭に迷うこととなります。

法令を遵守することはもちろんですが、一人一人が社会的常識・良識を持って行動しなければなりません。当社で実際にあったことですが、インターン生がSNS上に投稿したコメントの中に、取り違えると会社の不利益になったり、個人情報への漏洩につながるがありました。

学生は何気なく悪気なく投稿したようですが、結果的に、インターンを中止せざるを得ませんでした。

本人にとっても、送り出した学校にとっても、意図しなかった結果を招いてしまいました。

人や他社を誹謗中傷することも同様の結果を招きます。中傷した本人も、会社も信用・信頼を失ってしまうだけではなく、場合によっては名誉棄損で訴えられ、莫大な損害賠償を請求されてしまうこともあります。

「評価は他人がする」ことを忘れずに、常に一人一人が、八千代の職員としての自覚を持ち、責任ある行動を取ってください。

6. 会社は、一人ひとりの可能性を信じて、生き生きと輝ける場を提供し、職員の幸せを追求します

(解説)

会社は、創業以来、職員は大事な家族と思って接してきました。

だから僕は、家族である皆さんに、充実した人生を送ってほしいと思っています。

「子供が生まれた」と聞けば、わが子が生まれたように嬉しいし、「家を建てた・買った」と聞けば、「八千代のことを信じて、一生に一度の買い物をする決心をしたんだな」と感じて嬉しくなると同時に、「しっかり給料を払えるようにしなきゃ」とより大きな責任を感じます。本人にも「家を建てたんだから、もっと良い給料をもらえるように、頑張れよ」と言っています。

会社は職員一人一人の個性を活かし、生き生きとやり甲斐を持って働ける場を用意します。だから、あなたも、あなた自身の可能性を信じて、チャレンジしてください。頑張れば頑張った分、大きな充実感や達成感を得られ、幸せを感じる事ができるでしょう。あなたの夢の実現に向かって悔いのないように、有意義な時間を過ごしてください。会社も、あなたの夢の実現を応援します。共に幸せを追求していこう。